

## NEWS RELEASE

報道関係者各位

2022年1月28日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

# [東進分析] 2年目の大学入学共通テスト 英語リスニング 情報処理力とトレンドワードの理解が重要 文化的多様性を反映 前年以上に“アメリカ英語以外”が登場

東進ハイスクール・東進衛星予備校(以下、東進)を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、1月15日(土)、16日(日)に実施された令和4年度大学入学共通テストの結果を分析しています。その中から今回は、英語リスニングの出題傾向の変化をお知らせします。

## <2022年共通テスト:英語リスニングの変化>

### 1. 独自の「答案再現」で判明、前年正答率が低い問題の読み上げ速度が低下

東進では毎年、東進生を中心に大学入学共通テスト実施後に、合計得点だけでなく設問ごとにどの選択肢を選んだかを集計する「答案再現」を実施し、設問別の正答率を算出しています。問題ごとに見てみると、例えば昨年の正答率が12.2%と著しく低かった第6問Bや、昨年の読み上げ速度が138.9wpmと比較的速く正答率が37.6%だった第4問Bなどで、読み上げ速度が昨年よりも遅くなり正答率が上昇しています。

例外は第4問Aの1問目です。昨年は読み上げ文を聞いてグラフを完成させる問題でしたが、今年は読み上げ文を聞いて、順序通りにイラストを並べかえる問題に変わりました。これは、試行調査で出題されていた形式です。読み上げ速度は速くなったものの、問題形式が変更となり易くなったことで正答率が95.4%に大きく上昇しています。

### 共通テストリスニングの読み上げ速度と正答率の関係(特筆すべき問題を抜粋)

大問	問	読み上げ速度(wpm)			東進 答案再現正答率						
		2022年	2021年	前年比較	2022年	2021年	前年比較				
第4問	A-1	18	149.7	122.9	121.8%	95.4%	62.5%	+32.9			
		19									
20											
21											
	B	26	107.4	138.9	77.3%	80.5%	37.6%	+43.0			
第5問		27	119.8	105.2	113.9%						
		28							29.1%	58.4%	-29.3
		29							33.1%	30.5%	+2.6
		30							61.1%	41.7%	+19.5
		31							38.9%	60.4%	-21.5
		32							37.7%	69.3%	-31.5
第6問	B	33	134.4	119.4	112.6%	37.7%	69.3%	-31.5			
		36	118.2	126.1	93.7%	62.7%	12.2%	+50.5			
37	36.9%	53.5%				-16.6					

※読み上げ速度(wpm)は、1分あたりに読み上げられる単語数

## 2. 問われるのは高い情報処理力、 背景となるトレンドワードの理解も重要に

第5問では、大学の講義を聞いてワークシートを埋めたり、講義の内容と一致する選択肢を選んだりする問題が、昨年に引き続き出題されました。昨年の正答率が決して高いとはいえない中、今年は読み上げ速度がさらに13.9%上昇。共通テスト全体を通じて情報処理力が問われていることが、昨年以上に顕著になった問題であったと言えます。この問題は、読み上げられた文章や設問文から読み取る必要のある情報量が多いことや、「ギグワーク」など高校生にとってなじみのない用語も多く登場したことから、正答率も下がり難問となりました。

4人の会話を聞いて話し手が「エコツーリズム」に対して賛成・反対のどちらの立場なのかを把握し、主張の根拠となる資料を選ぶ第6問Bは、読み上げ速度が低下したことで昨年より正答率は上昇しましたが、難問であることには変わりません。

第5問と第6問Bに共通して言えるのは、「ギグワーク」や「エコツーリズム」といった近年のトレンドとなっているワードが登場している点です。背景知識を理解しているかどうかで、問題への取り組み方が変わってくると言えます。

## 大学入学共通テスト リスニングの特徴

	2022年 大学入学 共通テスト	2021年 大学入学 共通テスト	2020年 センター 試験
満点(点)	100	100	50
時間(分)	30	30	30
ページ数	27	27	15
スクリプト 語数	1,561	1,538	1,141
イラスト・ グラフ・表 の数	36	35	9
読み上げ 速度 (wpm)	129	132	128
大問数	6	6	6
解答数	27	27	15

## 3. アメリカ英語以外の多様な話者による英語の読み上げ

昨年の共通テストで初めて登場したイギリス人英語や非ネイティブによる英語が2022年も登場しました。昨年は「イギリス人英語×2問、アジア人英語×1問」でしたが、今年は「イギリス人英語×3問、アジア人英語×2問」と増加しています。アジア人英語のうち1問はかなり訛りのきつくスピードの遅い日本人と思われる英語でした。リーディングと同様、文化的多様性を意識していると考えられます。

### 【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学 NET」、総合型・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れたAI人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪個人メドレー2冠の大橋悠依選手をはじめ歴代35名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com